

## <センター等>

別紙2

### 全学内部質保証委員会の意見書

#### I 対象となるセンター等

ライフサイエンス支援センター

#### II 自己点検、外部評価実施時期

自己点検・評価実施時期 令和5年12月～令和6年1月

(対象期間 平成28年度～令和4年度)

#### III 評価結果

1. 今回の自己点検・評価は適切に実施されたか

**適切である**

2. 外部評価は適切に実施されたか（外部評価を実施している場合）

**対象外**

3. センター等の設置目的等や活動は本学及びセンター等の目的・目標等に沿ったものであるか

**適切である**

4. 設置目的等を達成する上で、組織、設備、財務等は適切か

**おおむね適切である**

5. 活動は本学及びセンター等の目的・目標等の達成に十分に資しているか

**資している**

6. 活動によって人材育成が図られているか

**図られている**

7. 内部質保証体制が適切に整備され、機能しているか

**機能している**

8. 外部評価における意見への対応（自己点検・評価での課題への対応）は適切か

**適切である**

9. その他、特記すべき点・改善を要する点等

(1) 特筆すべき点

- ・本学の生命医科学研究を行う多くの研究者の研究推進に貢献している。
- ・部局を越えた構成員の登録があり、3部門合計で述べ600名を超える利用登録者数を数えている。

- ・本センター利用者数も多く、その活動・支援が、英文業績数目標値の20%超えに寄与した。
- ・施設整備も着実に進められており、研究活動の高度化とともに、実験施設・棟の消費エネルギー量や維持管理コスト削減にも配慮している。

(2) 改善を要する点

- ・特になし。

(3) 改善が望ましい点

- ・利用者が極めて少ないRI部門については、RI部門の適切な規模について、縮小・廃止を含めて、早急な検討が必要と思われる。
- ・自己点検・評価書では、生物資源部門とバイオ実験機器部門においてセンター独自の定期的な点検がなされておらず、センター運営委員会にて実施を検討すると書かれていた。しかし、センター全体としての自己点検・評価が定期的になされているのであれば、部門における独自の定期点検までは不要と思われる。
- ・福井大学ライフサイエンス支援センターのホームページには各部門の設置目的が記載されているが、「福井大学ライフサイエンス支援センター」としての設置目的の記載が見当たらない。バイオ実験部門に特化していないのであれば、ホームページの構成を検討してはどうか。

10. 上記を踏まえ、センター等の改廃についての意見

(1) 専任教員の配置は妥当か

**適切である**

(2) 現状どおり設置していくことは適切か

**おおむね適切である**